



ホタルの生態



表佐のハリヨ (はりんこ)

① 巣作り

② 求愛ダンス

③ 巣へ誘導

④ 産卵 & 受精

⑤ 子育て

ハリヨの生態

ハリヨは岐阜県西濃地方と滋賀県北部にすんでいます。ハリヨは冷たいきれいな水の中しかすむことができない魚で、わかし水があるところや、その近くにだけすんでいます。からだは5センチくらいで、ハリヨには、背中3本お尻かに2本、しりびれの前に1本トゲがあるのです。ハリヨは、おもに3月から8月ごろに巣を生みます。このころになると、ハリヨのオスは、おごからおなかにかけて赤くなり、からだは円くきれいになります。ハリヨのオスは自分のおなかに卵をもち、その中心に水草や植物の根などを集めてきて巣を作ります。そして、メスに卵を生ませると、オスは卵がかえり子供がひとり立ちできるまで子育てを続け、その一生を終えます。ハリヨは、巣を作らず育てるめづらしい魚なのです。

表佐ハリヨを守る会

※条例によりハリヨの捕獲・殺傷は禁止されています。

湯壺の泉

表佐地区は、相川水系の扇状地から成る扇端に位置します。当地区には古くから字泉口、字湯壺、字水気免等、水に関する字地名が残っており、その地には「ガマ」と呼ばれる湧水が多数点在していました。いずれも相川の伏流水と考えられます。しかし、現在では河川改修や葦田整備により大半が姿を消し、当時の面影を残すのは三、四箇所になっています。

その中で、当湧水は水量が豊富で安定しており、水温も年間を通して十五℃前後で保たれ大切な泉として親しまれています。今回、岐阜県公衆衛生検査センターによる水道水の最も厳しい、五十項目の水質検査全てに於いて適合を認定されました。今後も災害対策用水として、重要な役割を担うこととなります。又、地域の生活用水としても更に活用して頂きたいと思えます。

平成二十一年九月 表佐地区連合自治会
表佐地区「農地・水・環境保全向上対策」推進会議





湯壺の池





